

第 12 回東京都人権施策に関する専門家会議 議事概要

開催日時：令和 6 年 5 月 21 日（火曜日）16 時～18 時

開催場所：東京都庁第一本庁舎 42 階北塔特別会議室 D（オンライン併用方式）

《出席委員》 江上千恵子委員、大江近委員、後藤千恵委員、佐藤佳弘委員、
戸松秀典委員、東優子委員、菱山謙二委員、本澤巳代子委員、山脇啓造委員
（以上 9 名）

《欠席委員》 石渡和実委員（以上 1 名）

議題：

- （１）「人権に関する都民の意識調査」の結果概要について
- （２）東京都の人権啓発の取組について
- （３）その他

議題（１）「人権に関する都民の意識調査」の結果概要について

- 資料 1 により、担当から概要を説明
- 委員からの主な意見

- ・人権尊重条例の認知度が、知らないという人が 85.2%と低い。大事な条例なので、もっと周知をしてほしい。
- ・同和問題について学校の授業で教わったと記憶している人が 6 人に 1 人いる一方で、同和問題を知らないという人が 30%もいる。知らない人がインターネットを通じて、認知される可能性がある。しかも間違った情報や煽っている情報で認知される可能性がある。知らない人が誤った情報で認知される前にいち早く教育機関で正しく教えないといけない。また、同和問題について、人権教育で取り上げていく必要がある。
- ・人権に対する意識、関心に関する経年的変化で、意識していないという回答が徐々に増えてきている。人権を意識してないというのは、人権という概念について何か論じたり、見聞きしたり、何が一体問題なのかということが十分に認識されてないということもあるのではないか。

議題（２）東京都における人権啓発の取組について

- 資料 2 により、担当から概要を説明
- 委員からの主な意見

- ・教育・啓発資材の点検を適切に取捨選別すべき、シナリオの作成や委託の際にも吟味

しながら、作られていく必要がある。啓発という要になる資材の点検、展開の進め方に大変関心がある。

- ・人権プラザの運営について、展示が非常に工夫されている。人権教育は非常に大事な
ので、子供に人権をどのように教えたらいいのかという意味でセサミストリートの
展示はいい。人権プラザを利用して、学校とも協力して出前授業など進めてほしい。
- ・同和教育の扱い方がどんどん減っているから認識する人たちも減っているのは当然
のこと。東京都では人権教育によく取り組んでいるが、人権プラザの更なる活用、人
権教育と学校教育との連携が重要であるので、きちんと取り組んでもらいたい。人権
問題の解決は、教育がまず要。今後、人権プラザの更なる活用方法、具体的には展示
物や資材をどう活用していくのが重要である。